

## NY ダウは約 3 ヶ月ぶりの高値

横山 泰史

業種:日本株ストラテジー

### 2 営業日続落

10日(水曜日)の日経平均は、前日比▼180円(▼0.6%)の2万7819円と2営業日続落した。業種別では、ガス(前日比+1.7%)、石油(同+1.2%)が上昇率の上位、空運(同▼1.3%)、電気機器(同▼1.2%)が下位であった。米国市場で半導体を中心にハイテク銘柄が大きく下落していたことから、東京市場でもアドバンテスト(前日比▼3.5%)、SUMCO(同▼3.3%)、富士通(同▼3.7%)などハイテク銘柄が売られた。上昇銘柄では、三菱マテリアル(前日比+7.9%)、マツダ(同+7.3%)などが買われ、昨日は決算が嫌気されて株価が大きく下落したソフトバンクグループは前日比+0.3%と小幅ながらも反発した。

### 米 PPI の下落を好感で買われるも失速

現地11日の米国市場では、発表された7月の米PPI(卸物価指数)が前月比▼0.5%と下落した(市場予想は+0.2%)ことが好感され、NYダウは一時300ドル以上の上昇となる場面もあったが徐々に上昇幅を縮小させて、終値は前日比+27ドル(+0.1%)の3万3336ドルであった。NYダウは約3ヵ月ぶりの高値で終えた。ナスダックは前日比▼74ポイント(▼0.6%)の1万2779ポイントで終えた。個別銘柄では、発表された決算と動画サービスの値上げ発表が好感されたディズニーが前日比+4.6%の上昇、バンカメ(前日比+2.3%)、シティグループ(同+1.5%)などの金融株や原油価格の上昇を反映して、エクソンモービル(同+2.8%)、シェブロン(同+2.4%)などエネルギー関連が高い。一方で、発がん性物質が含まれているとして既に米国内で販売停止となっている抗潰瘍薬「ザンタック」に関して訴訟リスクへの警戒感が高まったファイザーが前日比▼3.3%の下落となった。WTI原油先物は国際エネルギー機関が2022年と2023年の原油需要見通しを引き上げたことから前日比+2.6%の94.34ドルと上昇、米10年債利回りは同+0.11%の2.89%で終えた。

### 今日の予定

シカゴ日経平均先物は、大証比+330円の2万8120円で終わっている。今朝のドル円は1ドル133円を挟んだ展開(6時30分現在)で推移している。今日は、ENEOS、リクルート、電通グループ、マブチ、日本電子、などが決算発表を予定している。

#### 東京市場マーケットデータ

2022/8/10 現在

日経平均	2万7819円
プライム売買代金	2兆5809億円
プライム時価総額	696兆8672億円
日経平均予想 PER	12.6倍
日経平均 PBR	1.2倍
日経平均配当利回り	2.4%

出所: Quick

#### 日経平均パフォーマンス

年初来高値	2万9388円	2022年01月05日
年初来安値	2万4681円	2022年03月09日

出所: Quick

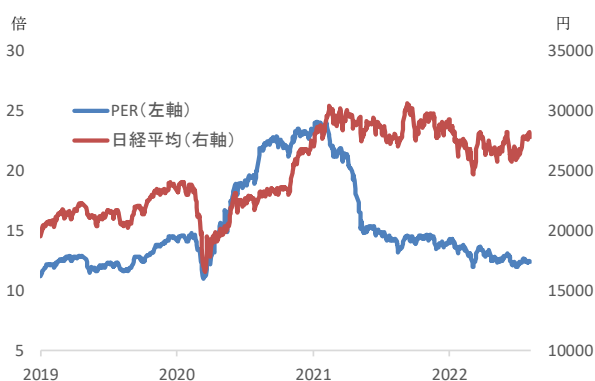
#### 国内株式売買代金ランキング

2022/8/10 現在

	株価前日比
1 レーザーテック	▼3.4%
2 ソフトバンクグループ	0.3%
3 東京エレクトロン	▼2.6%
4 ファーストリテイリング	▼2.7%
5 レノバ	8.1%
6 日本郵船	▼0.3%
7 トヨタ	0.5%
8 ソニーグループ	▼1.9%
9 川崎汽船	▼1.2%
10 三菱 UFJFG	0.6%

出所: Quick、アイザワ証券作成

#### 日経平均と予想PERの推移



## 金融商品取引法に基づく表示事項

### ■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：アイザワ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3283 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

### 株式の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお読み下さい。

### お客様にご負担いただく手数料等について

国内株式は、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

対面口座：約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

インターネット口座「ブルートレード」：インターネット発注 最大 1,650 円

コールセンター発注 約定代金が 55 万円以下の場合は 1,650 円、

約定代金が 55 万円超 3,000 万円以下の場合は 3,300 円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

### アイザワ証券 免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者または弊社と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

